

ごあいさつ



伊藤 正恵 校長
(長浜バイオ大学 学長)

2024年度京都高齢者大学校の開講に寄せて

京都高齢者大学校は、京都の高齢者団体や有志が協力し、「教養の向上、生きがいの創造、生活設計に必要な知識の習得」を目標に、2013年に開校しました。

高齢者が好奇心を持って学び、生き生きと生活することを目指し、学校法人関西文理総合学園長浜バイオ大学が運営しています。昨年11周年を迎え、今年度は更なる発展に向けて歩みを進めて参ります。

2020年からの3年間は、京都高齢者大学校も、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。2020年度は1講座を除いて休講を余儀なくされ、2021年度は制限を受けながらも開講に努め、2022年度は講座回数を減らして開講しました。

2023年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法の2類から5類へ移行したことから、感染対策を実施した上で24講座を開講しました。徐々に本来の活動を取り戻しつつあり、2024年度は、前年の講座に加え、新規講座として「総合歴史講座」「古都をめぐる自然観察会」「ステップアップ デジタル写真講座」の3講座を予定しております。

近年の科学技術の進歩は、ますます加速しており、新型コロナウイルスの制御には、全く新しいメカニズムのmRNAワクチンが世界中で使用され、ChatGPTを始めとする生成AIが、教育や仕事の現場まで変えようとしています。

街では、あらゆることがスマホを使って行われるようになり、伝統工芸や文化も、その形や表現方法が変化してきました。このような中、高齢者もその知的好奇心を刺激されることが多いことと思います。

京都高齢者大学校を、そのような皆様の学びの場としてお役立ていただき、積極的に社会に参加し、日々、彩り豊かに生活する一助としていただければ幸いです。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

京都高齢者大学校の沿革

<設立>

京都高齢者大学校は、学校法人関西文理総合学園関係者をはじめ、京都の高齢者団体や有志が協力して、1年間の準備期間に6回の公開講座を開催し、2013年4月に開校しました。

<経過>

- 2013年4月：学校法人関西文理総合学園鞍馬口学舎（旧予備校。関西文理学園）にて開校。
初年度は155人が入学。
- 2015年度：現在の河原町学舎に移転。
学校法人関西文理総合学園長浜バイオ大学の社会貢献事業として講座数を増やした。
- 2017年度：福知山市に北近畿校を開校。
- 2018年度：「京都社会人大学校北近畿校」の名称で北部地域の学びの場として各講座を展開。
- 2020年度：新型コロナウイルスの影響を受け、1講座のDVD配信を除いて1年間休校。
- 2021年度：新型コロナ感染対策を講じながら講座開催。
定員越え講座の抽選漏れ救済対策を講じた。
- 2022年度：オープンキャンパス、公開講座を開催。
- 2023年度：広域から653名の受講生が907講座を受講。